
取扱説明書



micro:bit 用ロボットカー Cutebot V3 <キュートボット>

この度は**ケニス** micro:bit 用ロボットカーをお買上げ頂き有難うございます。
実験前にはこの説明書を必ず読んで注意事項を守って頂きますようお願い致します。
お読みになった後もいつもお手元においてご使用ください。

■ 目次

注意事項	1
商品概要	2
仕様	2
構成・本体仕様	2
組み立て	3
アプリ・ソフトウェアについて	3
使用方法	4
プログラム例	6

■ 注意事項



注意

この指示に従わず誤った取扱いをすると、
人的傷害や物的損害が発生する可能性があります。大変危険です。

対象年齢 7 歳以上

- 本器は小部品があります。誤飲や窒息の危険がありますので、乳幼児には触れさせないようにしてください。
- 本器は自走タイプの教材となります。安全が確保されている広い場所でお使いください。
- 本器は保護者や指導者のもとでご使用ください。
- 車輪に指・髪の毛・衣服などを挟まれないようにご注意ください。
- 落下させるなどの強い衝撃を与えないでください。故障や事故の原因となります。
- 本器は防水仕様ではありませんので、濡れた手で操作したり、本体に水をかけたりしないでください。故障や感電の原因となります。
- 本器は屋外では使用しないでください。故障の原因となります。
- 改造による故障や事故については一切の責任を負いかねます。
- 本器を使用したことによって生じた PC またはタブレット・スマートフォンの動作障害やデータ損失などの損害について弊社は一切の責任を負いかねます。
- 異音、煙、異臭や発熱、損傷などが発生しましたら、使用をやめお買い上げの販売代理店までご相談ください。

< Bluetooth® 通信を行う上での注意 (micro:bit について) >

- 本器は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けております。そのため無線局の免許は必要ありません。ただし、本器を分解 / 改造すると法律により罰せられることがあります。
- 本器は Bluetooth® 対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
- IEEE802.11g/b の無線 LAN 機器と本器は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、近くで使用すると互いに電波障害が発生し、通信速度が低下したり接続不能になったりする場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってからご使用ください。
- 万一、本器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変えるか、速やかに電波の発信を停止してください。
- 病院などの医療機関、医療機器の近くでは本器を使用しないでください。電波の影響によって機器の誤作動が発生し、事故の原因になります。
- 本器を航空機内で使用しないでください。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。



商品概要

- ・ micro:bit により制御できる車型ロボットです。
- ・ 超音波・ライトレースセンサや LED を搭載しています。
- ・ Web ソフト「MakeCode」に専用のブロックを追加することでセンサや走行・ライトの制御を簡単に行うことができます。



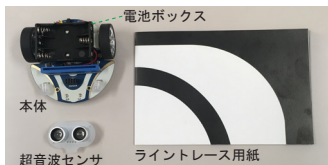
仕様

型 式	本体のみ	micro:bit付
搭 載 セ ン サ	超音波 ライトレース	
電 源	単4電池×3本(別売)	
大 き さ	85×85×65mm 約125g (micro:bit、電池含む)	
構 成 内 容	本体 超音波センサ 電池ボックス ライトレース用紙	micro:bit USBケーブル 単4電池×2※ 電池ケース※

※ micro:bit を Cutebot に接続せずに動作させる場合に使用します。

構成・本体詳細

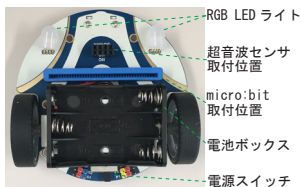
【構成品】



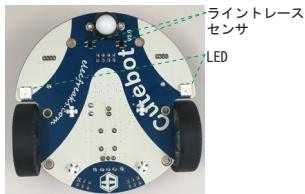
micro:bit 付のみ



【本体表面】



【本体裏面】



■組み立て

I. 組み立て

①電池ボックスを接続し貼り付けます。



モーター上面に付属の両面テープを貼り付けます。



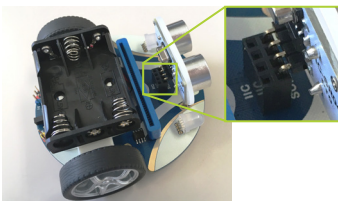
電池ボックスのケーブルを端子に挿し込みます。



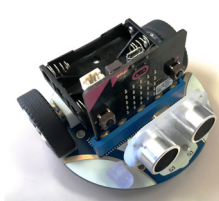
ボックスを貼り付けます。

②超音波センサと micro:bit（micro:bit 付のみ付属）をそれぞれの取付位置に差し込みます。

※ micro:bit はプログラム書き込み時に取り外し、動作させる直前に取り付けても構いません。



超音波センサは前方 4 穴に差し込みます。



micro:bit は LED が前方を向くように差し込みます。

③単 4 電池 × 3 本（別売）を電池ボックスにセットします。

■アプリ・ソフトウェアについて

micro:bit の標準のソフトウェアを使用します。

ブロックを組み合わせたり、Java Script のテキスト入力、簡単にプログラミングできます。

＜Web 版＞

<https://makecode.microbit.org/> へアクセスします。

＜アプリ版＞

○ Windows 10

1. スマートフォン / タブレットを Microsoft Store に接続し「MakeCode」と検索します。

2. 「MakeCode for micro:bit」を選択し、インストールします。

※インストールは無料ですが、別途通信料が発生します。

3. インストール後、ホーム画面にアイコンが表示されます。

※アプリは随時更新致します。更新の通知が出てきた際には、更新することをお勧め致します。



MakeCode

○ iOS, Android 対応

1. スマートフォン / タブレットを App Store、Google Play に接続し「micro:bit」と検索します。

2. 「micro:bit」を選択し、インストールします。

※インストールは無料ですが、別途通信料が発生します。

3. インストール後、ホーム画面にアイコンが表示されます。

※アプリは随時更新致します。更新の通知が出てきた際には、更新することをお勧め致します。

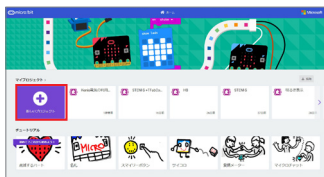


micro:bit

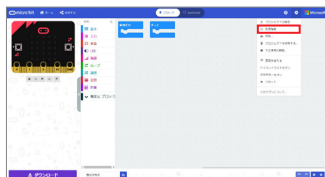
■使用方法

<専用ブロックの追加>

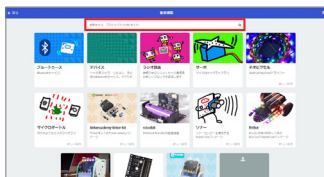
1. Web 版 (<https://makecode.microbit.org/>) へアクセス、またはアプリを起動します。
iOS/Android 版の場合は起動後「Create Code」を選択します。



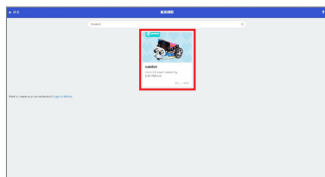
2. 「新しいプロジェクト」を選択します。



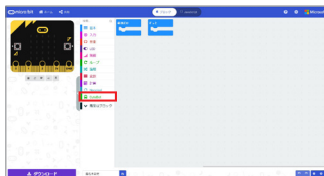
3. 拡張機能を選択し、「拡張機能」を選択します。



4. 検索欄に「Cutebot」と入力し、Qを選択します。



5. 表示される「Cutebot」を選択します。



6. ブロックリストに「Cutebot」が追加されたことを確認します。

※画面表示・内容はソフトウェアのアップデートに伴い変更になる可能性があります。

＜プログラムの作成＞




1. 画面中央のブロックリストから、画面右側のプログラミングエリアにブロックを並べてプログラミングを行います。

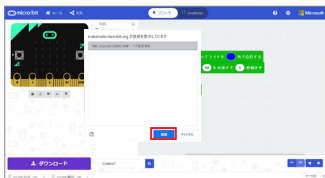
＜ micro:bit へのプログラムの書き込み ＞

○Web版の場合

1. ケーブルを使ってmicro:bitをコンピュータに接続します。



2. ダウンロードボタン横のを選択し、「デバイスを接続する」を選択します。



4. デバイス (BBC micro:bit……) を選択して、接続を選択します。

※画面表示・内容はソフトウェアのアップデートに伴い変更になる可能性があります。

< micro:bit へのプログラムの書き込み >

○ Windows アプリの場合

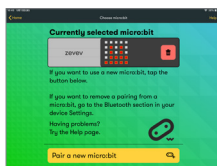
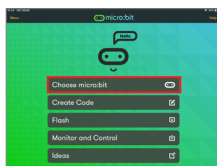
1. ケーブルを使って micro:bit をコンピュータに接続します。



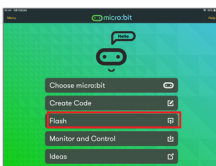
2. 自動で micro:bit を認識し接続されます。
3. 「ダウンロード」ボタンを選択すると、作成したプログラムが micro:bit に書き込まれます。

○ iOS/Android アプリの場合

Bluetooth にて無線接続を行います。タブレットの Bluetooth 設定を ON にしてください。



1. 任意のプロジェクト名を入力します。
2. ホーム画面に戻り、「Choose micro:bit」(Android 版の場合は「Connect」)を選択します。
3. 画面の説明に従い接続します。



4. 「Flash」を選択します。
5. 書き込みたいプロジェクトを選択し、「Flash」を選択します。

※画面表示・内容はソフトウェアのアップデートに伴い変更になる可能性があります。

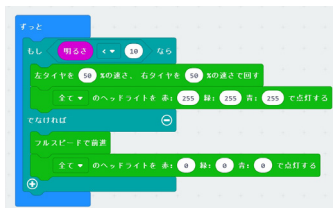
< 動作 >

1. micro:bit からケーブルを取り外します。(iOS/Android アプリ使用の場合は不要です。)
2. 本体の micro:bit 取付位置に micro:bit を差し込みます。(3 頁の「■組み立て」参照)
3. 電源スイッチを入れると、プログラミングにしたい動作します。

<プログラム例>



ヘッドライトを青点灯し5秒直進後、停止して消灯。



直進しながら暗くなるとスピードを落としてライトを点灯。



直進し、前方障害物に近づくと表示を出して方向転換。

製品に関するお問い合わせはケニス企画部へ

TEL : 06-4800-0724 (企画部直通)

FAX : 06-6882-9269

Mail : e-prog@kenis.co.jp



ケニス株式会社

本社 : 大阪市北区天満 2 丁目 7-28

☎ 530-0043 TEL : (06) 4800-0721 (代) FAX : (06) 6882-3768

東京支社 : 東京都江東区佐賀 1 丁目 2-8

☎ 135-0031 TEL : (03) 3630-8121 (代) FAX : (03) 3630-8187

福岡支店 : 福岡市博多区東比恵 3 丁目 16-3

☎ 812-0007 TEL : (092) 473-6600 (代) FAX : (092) 473-6635

広島支店 : 広島市西区三篠町 2 丁目 9-15

☎ 733-0003 TEL : (082) 537-2511 (代) FAX : (082) 230-2132

札幌営業所 : 札幌市北区北 10 条西 4-1-19 楠本第 10 ビル 1 階

☎ 001-0010 TEL : (011) 746-1061 (代) FAX : (011) 746-1062

仙台営業所 : 仙台市青葉区花京院 2 丁目 1-61 オークツリー仙台 601 号室

☎ 980-0013 TEL : (022) 302-5460 (代) FAX : (022) 302-5463

<https://www.kenis.co.jp>